

道徳の時間学習指導案

廿日市市立阿品台東小学校

指導者 小田 博美

- 1 日 時 平成 27 年 12 月 7 日 (月)
- 2 学 年 第 2 学年 1 組 19 名 2 組 18 名
- 3 主題名 世話になっている人に感謝して 2－(4)
- 4 ねらい 寝ずに看病してもらったのぶ子の気持ちを考えることを通して、日ごろお世話になっている人々の存在に気付き、その人たちに感謝の気持ちを表そうとする態度を養う。
- 5 資料名 「へんとうせんるとき」(出典:「小学校どうとく 2 かがやけみらい」学校図書)
- 6 主題設定の理由

本主題は、小学校学習指導要領解説道徳編の第 1 学年及び第 2 学年の指導内容 2－(4)「日ごろ世話になっている人々に感謝する。」を基に設定した。この時期の児童は、家庭から学校、地域など、様々な人との関わりが増えてくる時期であり、あらゆる場面で様々な人にお世話になっている。しかし、そのことに気付き、日ごろから感謝の気持ちを表して過ごしている児童は少ない。そこで、日々の生活で様々な人に支えられ、助けられて自分が存在することに気付き、自分を支えてくれる人々のために役に立とうとしたり、感謝する気持ちを具体的な言葉や行動に表そうとしたりする、道徳的实践力を高め、道徳的实践につなげていくことが必要であると考え、本主題を設定した。

本学級の児童は、入学当初から地域の方や異学年の児童と関わる機会が多く、学級や学年の児童以外の人とも、楽しく交流している。第 2 学年になってからは、ピア・サポート活動で第 4 学年の児童と一緒に活動したり、毎月地域ボランティアの方に学習支援をしてもらったりしている。しかし、活動が終わってから自らお礼を言う姿を見ることは少なく、日々の学校生活の中でも「ありがとう」という言葉を聞くことが少ない。これを踏まえ、児童に事前アンケートを行った結果、日ごろ「ありがとう」などのお礼の言葉を伝えられているかを問う質問の肯定的回答の割合は約 90%であり、教師の実態把握と児童の自己評価にはずれがあることが分かった。また、お世話になっている人を問う自由記述欄には、「家族、担任の先生、地域ボランティア」といった記述が多く、お世話になっている上級生の存在に気付いていない児童が多いことが分かった。

本資料は、扁桃腺が腫れて熱を出したのぶ子をお母さんが一晩中寝ずに看病し、それを知ったのぶ子がお母さんに気遣いの言葉をかけるも、「心配せずに休みなさい。」と優しい言葉をかけてもらうという内容である。一晩中寝ずに看病してくれたお母さんに対するのぶ子の気持ちを考えることで、身近で世話になっている人々へ感謝の気持ちを表すことの大切さに気付かせるとともに、その気持ちを表したいという道徳的態度を養うことができる資料である。

指導に当たっては、導入で写真や絵などを手掛かりにしながら、日ごろお世話になっている人について想起させる。その際、児童がお世話になっていると気付いていない上級生の存在にも気付けるようにピア・サポート活動の場面を提示する。展開において、のぶ子のために寝ずに看病してくれたお母さんに対するのぶ子の気持ちや、資料には書かれていない元気になったのぶ子がどのような思いをもち、行動しようとしたかを考えさせることで、感謝の気持ちを表すことの大切さに気付かせようとする。そして、導入で想起した人に、様々な場面で世話になっていることに気付かせ、感謝の気持ちを伝えたいという気持ちをもたせるようにする。終末においては、感謝の気持ちを伝えられていない日ごろお世話になっている人にどのような形で感謝を伝えたいか考えることで、道徳的实践力を高めていく。

7 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き 【◎中心発問】	指導上の留意点 【※評価の観点（方法）】
導入	1 日ごろ身近でお世話になっている人について、想起する。	○ みなさんは、日ごろ誰にお世話になっていますか。 ・お母さん、お父さん ・地域の方 ・縦割りリーダー ・4年生 ・先生	◇ 写真や絵などを提示し、身近でお世話になっている人に気付けるようにする。
展開	2 「へんとうせんとき」を聞いて、話し合う。	○ 一晩中寝ないで看病してくれたお母さんは、どんな気持ちだったのでしょうか。 ・早く元気になってほしい。 ・熱が下がるといいな。 ・心配だな。 ○ のぶ子は、どんな気持ちで「おかあさんは、ねむたくないの。」と言ったのでしょうか。 ・心配かけてごめんね。 ・寝ずに看病してくれてありがとう。 ・わたしのせいでごめんね。 ・お母さんはねなくてだいじょうぶなのかな。 ◎ 元気になったのぶ子は、お母さんにどんなことをしたいと思ったでしょう。 ・「ありがとう」と言いたい。 ・お礼の手紙を書きたい。 ・早く寝られるようにお手伝いをしたい。	◇ 「へんとうせんとき」の内容を場面把握させるために紙芝居を板書に活用する。 ◇ お母さんがしたことを確認し、のぶ子がお母さんへ抱いた感謝の気持ちに気付かせるようにする。 ◇ のぶ子の気持ちを考えることで、感謝を具体的な言葉や行動で表すことの大切さに気付かせる。
	3 日ごろ身近でお世話になっている人について、振り返る。	○ みなさんは身近な人に、どのような時、どんなことでお世話になっていますか。 ・お母さん…ご飯を作ってもらう。 ・お父さん…毎日家族のために働いてくれる。 ・6年生…掃除の仕方を教えてもらう。 ・4年生…ピア・サポートの活動の時、やさしく教えたり、助けたりしてくれる。 ・地域の方…授業中、分からないことがあると教えてくれる。	◇ どのような時に、どのようなことでお世話になっているかを想起させる。

終 末	4 感謝の気持ちを伝えたい人について考え、「わたしたちのどうとく」p. 87に記入する。	○ 「ありがとう」を伝えたい人に、どんなことでお世話になっていますか。また、「ありがとう」の気持ちを伝えたい人に、どんなことをしてみたいか考えて書きましょう。 ・お母さんにプレゼントを作ってあげたい。 ・地域の人に会った時に「ありがとう」と伝えたい。 ・4年生にお手紙を書きたい。	◇ 特に、感謝の気持ちを伝えられていない人に対して、感謝の気持ちを伝えようとする気持ちをもてるようにする。 ※ 日ごろお世話になっている人に感謝の気持ちを持ち、それを表そうとする思いをもっている。(わたしたちのどうとく p. 87)
--------	---	---	--

8 板書計画

「ありがとう」かんしゃの気持ちを
つたえたい

元気になったのぶ子

「お母さんは、ねむたくないの。」

目をさました絵

ひとばん中ねないでかんびよう

パジャマをかえる絵

お母さん
あせをふく パジャマかえる
ねつをはかる
こおりまくらをかえる
手ぬぐいをかえる

寄り添う母の絵

のぶ子
ねつを出してねていた。
こわいゆめを見た。

地域の人との活動

4年生との活動

へんとうせんとき

日ごろお世話になっている人
・おうちの人 ・地いきの人
・先生 ・たてわりリーダー
・四年生 ・ならいごとの先生